風土記の丘の花だより129

今、そしてこれから見られる植物(2022年4月9日)

ソメイヨシノにかわって、サトザクラの仲間が咲き始めました。トイレと谷村家の 間の広場のイチョウは10日ほど前から咲いています。花の真ん中に小さな葉が一枚 付いているので「一葉」です。カンザンもギョイコウもきれいに咲くことでしょう。

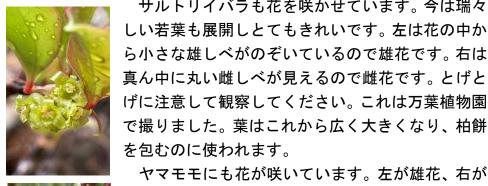
を包むのに使われます。



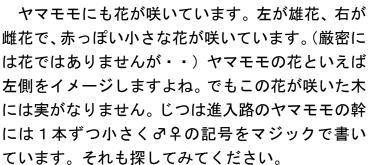
サクラみたいに目立ちませんが、イロハカエデに も花が咲きました。小さな花です。近づいてよく観 察すると、雄花と雌花があることがわかります。雄 しべが突き出ているのが雄花。左右に広がった花が 雌花です。もうプロペラの赤ちゃんみたいなものが できていますね。真ん中より少し右よりに一輪咲い ているのが分かりますか?それが実になります。

サルトリイバラも花を咲かせています。今は瑞々 しい若葉も展開しとてもきれいです。左は花の中か ら小さな雄しべがのぞいているので雄花です。右は









で撮りました。葉はこれから広く大きくなり、柏餅



ムラサキケマンの花もたくさん咲いています。こ の花は花期が比較的短いです。20センチ余りの丈 があるのでよく目立ちます。花は細長く薄紫色です が、先だけが濃い紫色で、それが幾つもかたまって 咲いています。花の後には細長い実ができますが、 中の種子にはアリが好む成分が含まれていて、アリ がせっせと運んで分布を拡げます。 松下